

市民活動・虎の巻

研究テーマ 「組織力を整える資金計画のススメ」

活動に取り組んでいくうえで、必要不可欠なお金の話。日頃の活動資金の調達から団体の健全な運営のための資金計画を整えることで、先を見通せる健全運営が可能になった団体を紹介します。

特定非営利活動法人 ながおかたすけあいネットBEライフ

住民参加の助け合い活動を通して、介護・援助が必要な高齢者やその家族をサポートする訪問介護事業を行っています。しかし、当初は収支バランスが悪く、活動資金の大部分を介護保険の報酬に頼っていました。また、同じ時期に介護保険法の改正があり、利用料の値上げによる顧客の流出など、先行きが不透明となり、組織の内部ではどこから改善したらいいかわからない状況でした。



理事長:原真知子さん

★業務改善に至るまでのステップ.....

第1ステップ	第2ステップ	第3ステップ	第4ステップ
課題 事業の収支バランスが取れていなかった。 改善策 事業ごとに損益分岐点を見える化し、不採算の要因を探った。	課題 事業計画に基づいた資産計画を立てていなかった。 改善策 事業計画に基づいて、事業予算の見直しを行い、長期的に採算が取れるような計画作りを行った。	課題 サービス内容と比較して料金水準が低かった。 改善策 長期事業計画と資金計画及び外部環境の変化を加味し、健全運営ができる料金の改定を行った。	課題 資金管理や会計方法に不安を抱えていた。 改善策 会計ソフトの導入により、事務負担の軽減と資金管理が見える化できた。

業務改善の結果 私たちの法人は、経営的観点から事業計画を立てることが不得意でした。協働センターに相談し、専門家のアドバイスを受けたことにより、NPO法人の果たす役割に基づいた事業計画と資金計画を作成。先を見通せる運営ができるようになり、職員からの提案を実現したり、職員の増員も可能になりました。事業のアドバイスや資金計画の立て方を知り、これからの活動への夢も膨らみます。

we can do it! 私たちは〇〇ができます!

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん! 困りごと、協力してほしいことはありませんか? 私たちが力になりますよ!

団体① 「新潟県発動機愛好会」は、発動機の回収・修復が出来ます!

農業機械などの動力として活躍していた「発動機」の愛好会として、定期的に発動機運転会を開催したり、使われずに放置されている発動機の回収および修復をしています。発動機に関することは何でもご相談ください。

詳細はこちら

団体② 「楽団ベルバラ」は、ミュージックベルの演奏会が出来ます!

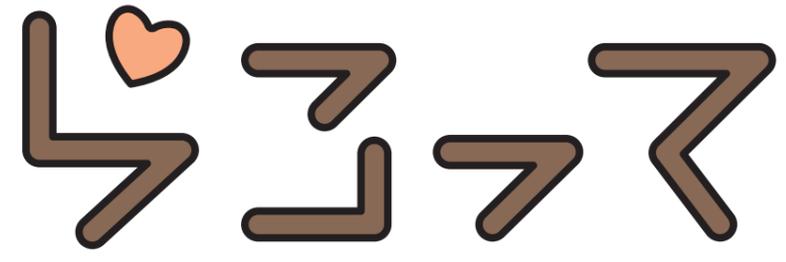
ミュージックベル好きの仲間が集まり、発表会を通じて音楽の楽しさや癒しを提供しています。多世代が一緒に楽しめる手遊び等を交えた演奏会をこれまで、長岡市内の福祉施設や病院、子育ての駅などで行ってきました。

詳細はこちら

information センターからのお知らせ 市民活動「七つ道具」を無料で使えます!

多くの枚数を「印刷したい」、配布できるよう「まとめたい」。そんなときは、協働センターに常備してあるチラシ・情報紙づくりに役立つ「七つ道具」を使ってみませんか?

- 1 印刷機**
原稿と印刷用紙を持ち込み、チラシなどを白黒印刷できます。
※1原稿につき印刷枚数50枚以上3000枚以下でお願いします。
- 2 紙折り機**
B6~A3までの用紙を2ツ~4ツ折りにできます。
- 3 丁合機**
複数の書類を簡単に組み合わせられます。
- 4 穴あけパンチ**
- 5 大型ホチキス**
- 6 裁断機**
- 7 ラミネーター**
※ラミネートフィルムは各自ご用意ください。



Racotte vol.71
発行●ながおか市民協働センター



インタビュー interview

暮らしの機微に目を配る 集落広報誌の編集者 **菊地武典さん**

子どもたちの心の成長を見守るミュージカル講師 **小杉佐智子さん**




コライト、見ないと!

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこっこのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

らこらマ 2018.11.1 (vol.71) **FREE** 【発行】ながおか市民協働センター
〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail.kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオ
FMながおか **80.7MHz** ながおかの市民活動紹介番組 | 放送時間 10分程度 第5月曜日を除く

- 活動PickUp!
・未来の石坂を語る会
・特定非営利活動法人 長岡献血友の会
・三島を楽しむ会
・マコー株式会社
- 市民活動・虎の巻
・組織力を整える資金計画のススメ 『特定非営利活動法人ながおかたすけあいネットワークBEライフ』
- 私たちは〇〇ができます!
・新潟県発動機愛好会
・楽団ベルバラ

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー!

活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根拠り葉掘りお聞きしました。



菊地武典さん <77歳 / 元小学校教員> 広報「じょうのおか」編集委員
集落広報誌を発行して十余年
広報誌編集を通して人々の関係性を編む

長岡市和島地域の城之丘集落では広報誌「広報じょうのおか」が住民有志からなる編集委員によって年4回発行されています。その内容は、集落の子どもが小学校に入学したとか、自主防災会の活動、田んぼの発育状況など“超”地域密着型。発起人は元小学校教員であり同集落で生まれ育った菊地武典さん。教員時代より、「目標は謳うものではなく達成するもの」という姿勢を大切にしてきました。例えば児童に「廊下を走ってはいけません」とただ訴えるだけではなく、走るとどんな危険があるか理解を促したり、課題解決に向けて先ずアクションを起こしてみるなど、工夫&行動を信条に目標達成に努めてきました。

そんな菊地さんが「広報じょうのおか」の発行に取り組む契機となったのは民生委員での経験。「会議の場では、地域活性化や連携の必要性は挙がるものの、具体的な解決手段については手つかずでした。広報誌発行を通して地域情

報を住民と共有し、一人ひとりの地域への関心を深めることが安全安心な暮らしづくりへの第一歩となると思いました。

地域住民が編む地域に根付いた情報誌という、身近さと温かみが好評を呼び、当初は集落内のみでの配布だったものが、今では和島支所や郵便局、事業所などでも配布され、広く情報が共有されています。また、他集落でも同様の集落情報誌発行の機運が生まれたりと賛同の輪が広がっています。

「記者目線で日々の暮らしに目を凝らすと、些細な変化にも気付くようになり、城之丘での暮らしが以前にも増して楽しくなりました。取材で得た情報をきっかけに色んな人と談笑していると活動してよかったと思います」と振り返る菊地さん。これからも地域で起こる目の前の出来事に焦点を当ててアクションを起こしていきます。

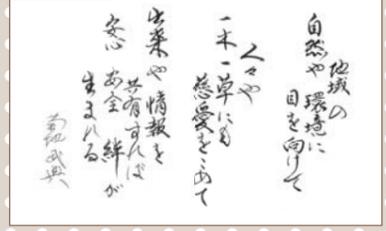


●上：編集会議のひとコマ。写真をふんだんに盛り込むこと、誰もが読みやすい大きな字で記すことにこだわっています。●左下：教員時代の菊地さん。学級通信を書き続けた経験が今に活かしているのだとか。●右下：地域の方々にマジックや紙芝居を披露したりもしています。人を喜ばせることが好きな菊地さんです。

profile

- 1932年 三島郡島田村(現長岡市)に生まれる。
- 1953年 小学校教員となる。以来、転動で新潟県内を転々とする。
- 2001年 退職。以前より務めていた民生委員等の地域活動に取り組む機会が増える。
- 2007年 賛同した数人の編集委員とともに「広報じょうのおか」を創刊。
- 2017年 発行10周年を記念し、既刊号と城之丘地域史を併せて編集した「城之丘50周年記念誌」を発行。

活動の根っこ



小杉佐智子さん <55歳 / 英語講師> リリック・ジュニア・ミュージカル地域講師、長岡おやこ劇場代表
演劇を通して自分を表現する楽しさを次世代へ
子どもたちの殻を破るきっかけづくり

小杉佐智子さんは英語講師のかたわら、演劇を通じた自己表現を子どもたちに広める活動を10年以上続けています。

子どもの頃は大人しく、自分をうまく表現できなかった小杉さん。「高校時代にたまたま勧誘を受け演劇部の公演を観たとき、先輩たちの一生懸命自分を表現している姿がとても眩しく、羨ましく思いました。演劇部に入部すると、演劇を通じて自分を表現する楽しさを知りました。さらに「長岡市民劇場」で観たプロの演劇からもたくさん刺激を受けたそう。

その後、演劇から少し離れていた24歳のとき、たまたま市民有志で行う舞台に参加。演劇の魅力を再確認し、改めて演劇に関わっていくことを決めました。親子劇団に加入し演劇を楽しむだけでなく、平成16年より子どもたちがプロから演劇を学び披露する

(公財)長岡市芸術文化振興財団主催の「リリック・ジュニア・ミュージカル」の地域講師に就任。「初めは恥ずかしがり屋で全然声も出せなかった子が自信を持ち、生き生きと演じている姿を見ると嬉しくなります。練習を通して学校とは違う人間関係が出来るのもいいことだと思います。また、「長岡おやこ劇場」で“観る体験”も大事にしている小杉さん。「大人の真剣な姿を生で観られることは、テレビとは違うものが伝わると思っています。大変ですが子どもたちが観る機会は減らしたくないですね。」

小杉さんがここまで続けてこられたのは、子どもたちの心の成長をたくさん見てこられたから。「演劇を通じて、表現する楽しさや周りとの協力する楽しさを知り、自分の殻を破るきっかけをこれからも与えていきたいなと思っています」。

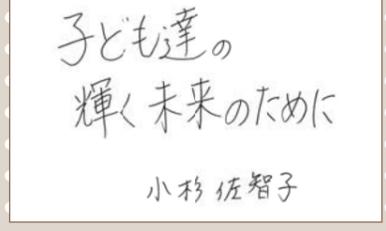


●上：「リリック・ジュニア・ミュージカル」での練習風景。プロから学んだことの復習などを教えています。●左下：「長岡おやこ劇場」のメンバーで行ったキャンプ。演劇以外にも子ども同士が楽しめるよう企画しています。●右下：見附市の親子劇団に加入していた頃の娘さんとの一枚。「娘と練習の帰り道、演技のことで喧嘩することもありましたが楽しい時間でした」。

profile

- 1963年 長岡市に生まれる。
- 1978年 高校入学。演劇部の新入生勧誘公演を観て、先輩方の演劇に衝撃を受け入部。
- 1988年 市民の有志舞台に参加し、演劇の熱が再燃。
- 2003年 娘さんと一緒に見附市の親子劇団に加入。翌年、「リリック・ジュニア・ミュージカル」にボランティアスタッフとして参加。その後、地域講師として指導にあたる。
- 2006年 長岡おやこ劇場の手伝いを始め、その後正式に加入。

活動の根っこ



活動PickUp!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

未来の石坂を語る会

住みよい石坂を守りたい!



長岡市の東山すそ野に沿った、村松、竹町、釜沢、鷲巣、横枕の5町内から成る石坂小学校区の住民は、近年急速に進んだ人口減に歯止めをかける方策を探ってきました。全校児童41人の石坂小学校を核として、地域全体で取り組む事業を起こそうと「未来の石坂を語る会」を立ち上げ、平成30年9月に「第1回 石坂郷フェスティバル」を開催。子どもから高齢者まで予想以上の参加で大いに盛り上がり、未来の石坂に明るい兆しを見出しました。

特定非営利活動法人 長岡献血友の会

命を救う小さな勇気を広げる

年間を通して医療に必要な血液を安定的に確保できるように、献血推進を応援する企業、団体、個人が会を立ち上げて38年。献血車と共に学校や企業に出向き、チラシ配布や声かけをして献血の推進を図ってきました。平成12年にNPO法人化し、全国で初のNPO法人の「献血サポーター」として日本赤十字社に登録されました。献血は健康な大人が一人でもできる社会貢献です。若い人も気軽に足を運んでくれるように活動を続けます。



三島を楽しむ会

地域資源を活用し三島をもっと楽しく



「ながおか・若者・しごと機構」が開いた「三島若者会議」がきっかけで、三島の地域資源を利用したイベントを企画していこうと、平成29年6月に発足。平成30年8月には、団体として初となるイベント「寺マルシェin浄福寺」を企画。本堂を使った体験会やお寺にちなんだワークショップなど、大人も子どもも楽しめる多世代交流の場となりました。今後も三島の公園など、地域資源を活かしたイベントを企画していきたいです。

マコー株式会社

人を磨き、人を創る

昭和58年創業。様々な材質の表面を加工する技術“ウェットブラスト”に取り組む、日本唯一の専門メーカーです。平成10年の社屋新築を機に、年間を通じて会社見学を積極的に受け入れ、特に地元の子どもたちに対しては、見学することで「モノづくり」の好奇心を刺激し、地元製造業へ目を向ける機会になるよう、心がけています。いずれ長岡でモノづくりに関わる人が増えることを願っています。



みんなの声 / 投稿 随時募集中
「これも協働!」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿者 ポコさん
食欲の秋ですね~!うちの近所では「秋の持ち寄りバイキング」というちょっと変わったイベントを開いています。畑で取れた野菜や果物を食べきれない人と、野菜をいっぱい欲しい主婦とのマッチングです。その場で調理してもいいし持ち帰ってもいいという感じです。今年も楽しみ~!

投稿者 アリス2世さん
例年、友人の持っている山に紅葉狩りにお邪魔する時期が近づいてきました。春はその場でタケノコの刺身も頂いています。もらってばかりじゃなくてたまには掃除でもして協働しようかな。

投稿方法
投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する
QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口を設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

